

信州の高原での思い出づくり!!

下伊那西部シルバー便り

H23.8.10
No.7

発行
（社）下伊那西部
シルバー人材センター
印刷
龍共印刷（株）



原発事故により戸外で思いきり遊べない子ども達を信州のきれいな空気の中で思う存分遊んでもらう「高原学校イン阿智村」を、清内路のふるさと自然園で開設し、福島県伊達市の小学五六年生百七十名を受け入れました。シルバーではボランティアで、流しそうめん用の竹樋と脚五十m、汁を入れる竹製の器百九十個を製作しました。延べ二十人余のスタッフが担当しましたが、皆さん喜んでくれました。



第一回定時総会を開催

公益社団法人として最初の総会

公益法人に移行して最初の定時総会は、五月二十七日午後二時から阿智村コミュニティ館二階ホールにおいて、来賓としてハローワークの上沼統括官、関係者のご臨席をいただき、議長など関係者のご臨席をいただき、会員百六十九名(本人出席四十四名、委任状出席百二十五名)の出席のもと開催されました。

冒頭の挨拶(別掲)で福岡理事長は、昨年度の実績等を評価するとともに、課題についても述べられました。

議事は議長に阿智村智里の金田文雄会員が就任し、提案された議題について討論が行われました。承認事項では平成二十二年度収支補正予算、議案では平成二十二年度事業報告、収支決算報告がいずれも満場一致で確認されました。任期満了に伴う役員選任では、小野国明役員選考委員長から役員候補者が発表され、新役員全員が拍手で承認されました。

そこで総会を一時中断し



て、別室において理事会が招集されて終了後、福岡理事長、片桐副理事長、原専務理事がそれぞれ再任された旨報告されました。

次いで、平成二十三年度収支補正予算、財務規程等の制定が報告され、東日本大震災に伴う義援金の拠出について承認され総会は終了しました。

総会終了後、阿智村保健師の岡庭弘子さんから「いつまでも健康で暮らせるように」と題して、シルバー世代の私たちが仕事を通じて健康で暮らしていくためのポイント等についてわかり易くお話をしていただきました。

理事長挨拶要旨

第一回定時総会がご理解ご支援をいただいている各位のご臨席のもと開催できることを喜びとします。当センターは二〇年一月発足から一年半、この四月から公益に移行しました。団体の健全性、公益性が認められたが、今まで以上に一人ひとりの意識を高めていくことが求められます。

三月末の会員は一九〇名で、六三四人日、三千万円の大台を超えることができましたが、各公共団体、企業、家庭、社協のご支援の賜であり深く感謝すると共に、会員各位の仕事ぶりが評価されたものであり大変うれしい。今後は八三%の就業率の向上が課題である。

東日本大震災から二カ月余、被災者に対し改めてお見舞い申しあげると共に、原発事故等復興の長い道のりを思うと、歴史の転換点に立っているのではないだろうか。シルバーは働くことを通じて自らの生きがいと地域への貢献という目標のもとに、頂いた仕事は誠実に行って、安全はすべてに優先することを忘れずに仕事をお願いしたい。

平成22年度の実績			
会員数 (H23.3.31)	男138人	女52人	計190人
地区別会員数	上中関 12	中 関 16	駒 場 29
伍 和 19	智里東 20	智里西 3	浪 合 15
清内路 10	平 谷 10	根 羽 56	
事業実績(発注先区別)			
	受託件数	就業人員	契約金額 (千円)
公共事業	116	2,113	9,914
企業等	324	2,551	13,317
家庭	447	1,544	7,106
独自事業	4	141	348
計	891	6,349	30,685
職群別就業実績			
	延日人員	配分金 (千円)	割合
技術群	172	396	1.5%
技能群	360	2,425	9.0%
事務・管理群	644	2,070	7.7%
一般作業群	3,271	17,292	63.9%
サービス群	1,902	4,894	18.1%

新役員



理事
田中興平
(阿智村伍和)



理事
井原正義
(阿智村智里)



理事
井原里美
(阿智村伍和)



専務理事
原英行
(阿智村春日)



副理事長
片桐和人
(根羽村)



理事長
福岡昭一
(阿智村春日)



理事
安藤孝兵
(根羽村)



理事
佐藤昭三
(平谷村)



理事
北原澄男
(阿智村清内路)



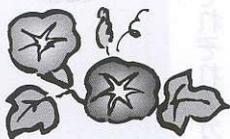
理事
山口登矢男
(阿智村浪合)



理事
山田すみ子
(阿智村駒場)



理事
水上重人
(阿智村駒場)



監事
石原明子
(根羽村)



監事
水上文保
(阿智村智里)



理事
筒井甫
(根羽村)

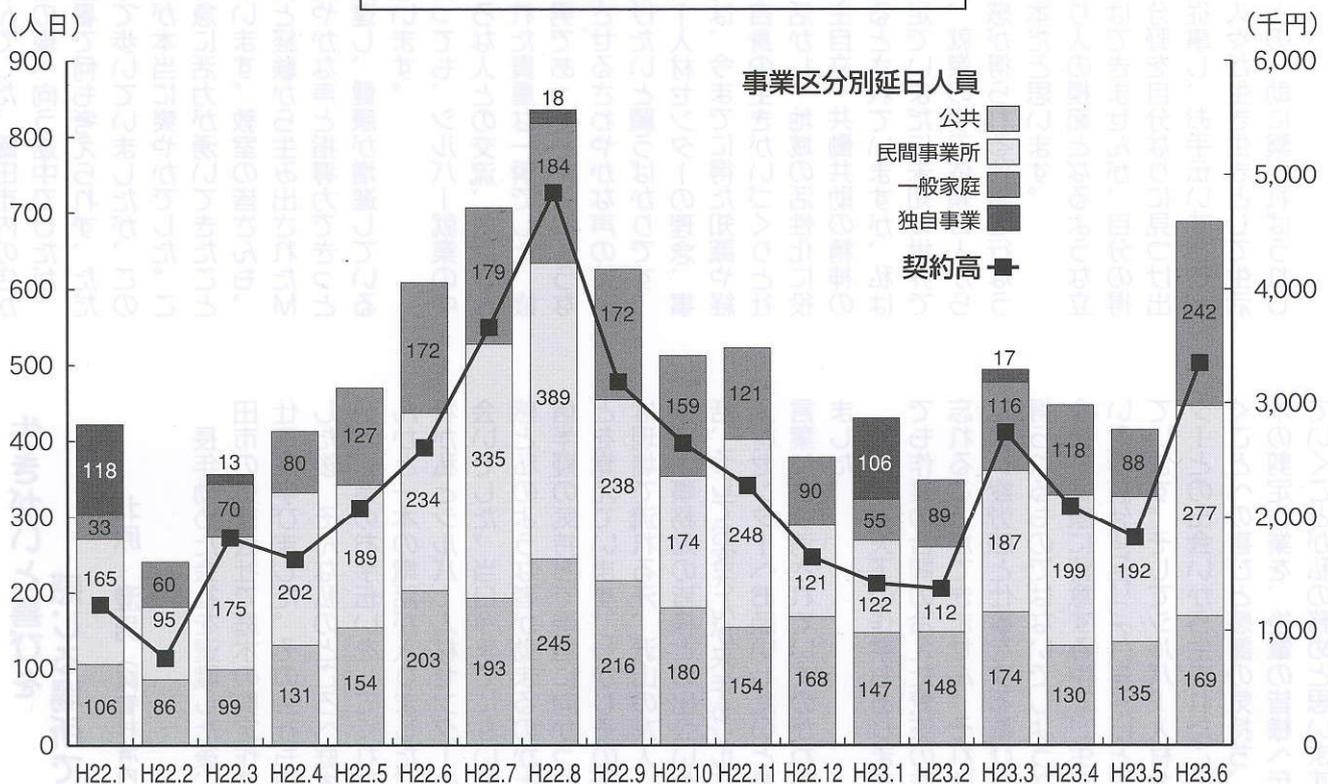


理事
片桐孝
(根羽村)



理事
石原昭俊
(根羽村)

事業実績の推移



会員の広場

地域の期待と信頼を得て



芦澤 好恒
(阿智村春日)

下伊那西部シルバー人材センターが法人組織として発足し、村当局でも期待し支援等をいただいております。わいWai公園の維持管理（主に草刈り作業等）を年間を通じて委託されています。会では維持管理に適切な会員九人で作業班を結成し、四月から維持管理作業を実施しております。年末頃まで毎月作業を継続してまいります。また、公園施設で野球やマレットゴルフのスポーツイベント開催時には、駐車場や側溝の清掃など実施し、来園者が気持ちよく楽しんでいただけるよう、景観等にも心掛けております。公園作業はもとより、地域内の個人での依頼があればいつでも対応しており、このセンターが地域住民の期待と信頼を得ることが持続可能な組織として後世に語り継がれる道です。

今、会員各位が公益社団法人のノ

ルマ達成のためそれぞれの分野で頑張っておられることは大変喜ばしい次第です。が、皆さん方は決して若いとは申されません。心と体力は日々アンバランスになってきます。今一度我が身を省みて、無理なことは避け健康管理に心掛け、事故のない明るく楽しいシルバー人材センターの発展のためにご奮闘ください。

なお、互助会活動も会員相互の期待に沿えるべき事業に取り組みでまいりますのでご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

就業から得たこと



桜井 茂男
(阿智村清内路)

平成二十年からゆったりーなブールの見守り業務で就労させてもらっています。

先日のことです、「桜井さん、こんにちば」と突然右後方から声がかかり振り向くと、湯ったりーな水泳教室のコーチをされている、車が

らのMさんでした。飯田市内の店から駐車場の車へ向う途中でしたが、連日の猛暑で何も考えられず、ただボーとして歩いていました。この挨拶の声が本当に爽やかでした。この一声で急に活力が湧いてきたことを覚えています。教室の皆さんも、天性素質と経験から生み出されたMさんの爽やかな声と指導力できつと水泳が上達し、健康が増進していることと思います。

私にとっても、シルバー就業の中心でいろいろな人との交流、対話から力づけられた貴重な一瞬でした。歳を重ねた男であっても、このような人を感動させるさわやかな声の持主であり続けたいと願うばかりです。

シルバー人材センターの理念、事業の目的は、今までに得た知識や経験を自分自身の生きがいづくりと社会参加に活かし、地域の活性化に役立て、自主自立、共働共助の精神の醸成を図るとされていますが、私は全く力不足でいまだに未知の世界です。ただ、就業の中で依頼の人から信頼と好感が得られる仕事を行なうことが基本だと思っています。

教えたり人の模範となるような立派なことはできませんが、自分の得意とする分野を自分なりに見つけ出して就労従事し、お手伝いすること地域の人々が生き生きとして生活できることの一点に繋がればうれい事です。

生きがいと喜びを

感じる場所です

北原 澄男 (阿智村清内路)

長年勤めた会社を退職した後、飯田市の造園会社で庭木の剪定作業の仕事を選びました。その会社も退職した後、そんな私のところへ庭木の剪定作業のお手伝いをしてくださいませんかとの電話が入りました。これが私とシルバー人材センターの出会いでした。当日今までにない緊張感と私のような者が勤まるのかと半信半疑の気持ちで現場に向かったことを覚えております。しかしその不安は現場で流れる汗、沢山の友人、センター事務局の皆様との出会いや会話、そしてお客さんが来年もシルバー人材センターへお願いしたいと言った言葉により消されていくのがわかりました。

時には炎天下の作業もあります。でも作業の合間の冷えた麦茶の味を忘れることができません。それは心地よい疲労感と仕事をする喜びから得られるものではないでしょうか。今後も健康に留意する中で、生きがいを感じながら行ってきたいと思っています。そしてシルバー人材センターとの出会いから生まれたこの働くことへの喜びと感謝の気持ち、庭木の剪定作業を、後輩の皆様へ伝えていくことが私の務めと思えます。

仕事を楽しく



高柳 紀一 (根羽村)

二年前、勤めていた会社を退職して... 一年前、勤めていた会社を退職していたところシルバー人材センターより話しがあり草刈りをやってくれないかと声が掛かりました。私なんかで人様の仕事ができるのだからかと少し不安ではありましたが、その後でその人から大変に喜んで頂き、その後少しづつ仕事を頂き私でも人の役に立てるのだと、お年寄りのお手伝い、畑の耕し、スキー場の切符切り、粗大ゴミの運搬と、何でもやっております。その仕事の度にその人のふれあいを喜んで頂けるので、会社勤めにはなかった人とのふれあいをとつても楽しく仕事をしております。

最近では名古屋のJTNという大きな観光会社が夏休みを利用して「根羽川で遊ぶ」というツアーを募り、愛知県・岐阜県の市町の小学生を募集して、毎日八十人から百人の子供さん達が根羽川に遊びに来ます。その接待の依頼を受けて私達がお手伝いしております。

子供さん達は川遊び、魚つかみ体験、魚の腸とり体験、女の子のなか

には「気持ち悪い!」と言っている子もおりますが、アマゴを塩焼きにしてやる「おいっ!ーおいっ!ー!」「もう一匹食べたい」と、とっても喜んでくれます。

その子供さん達が全員声をそろえて私達に「よろしくお願ひします」帰りには「ありがとうございました」と大きな声であいさつしてくれます。会社勤めにはなかったそんな人とのふれあいがとつてもうれしく、毎日楽しく送っている今日この頃でございます。

理事の専門部分担

新理事による初めての理事会を六月三十日に開催しました。理事の専門部の構成を決め、当面の事業等への対応を話し合い、各分会がそれぞれ具体的な対応を行っていきます。

総務部会	理事長、副理事長 専務理事、各分会長 3名		
広報啓発部会	◎北原 澄男 山田すみ子	○水上 重人 石原 昭俊	
就業推進部会	◎井原 正義 佐藤 昭三	○山田すみ子 片桐 孝	
安全推進部会	◎田中 興平 山口登矢男	○安藤 孝兵 筒井 甫	

◎印 部会長、○印 副部会長

振り込め詐欺にご注意!



暑い日が続きますね。阿智村交番からのお知らせです。シルバーの皆さん、振り込め詐欺は、あなたも狙います。

高齢者を対象にした
オレオレ詐欺
や
架空請求詐欺
が多発



俺だけど、風邪ひいて声がおかしいんだ。携帯電話が壊れて番号が変わったから控えておいて。

振り込む前に、まず警察に相談を!

だましのキーワード

オレオレ詐欺

- 「カゼひいて声がおかしい」
- 「携帯電話の番号が変わった」
- 「会社のお金で株を買って損してしまった」
- 「友人の借金の保証人になってしまった」

受取型の場合

- 「知人にお金を渡して欲しい」
- 「暗証番号は」
- 「キャッシュカード、通帳を預けて欲しい」



県シ連総会開かれる

六月三日長野市において、県シ連の平成二十三年定時総会が開催され、平成二十二年の事業報告、収支決算報告が承認されました。

県下二十一シルバーの会員は一八九六四人（前年比九・五％）、契約金額は九二億円弱（前年比一〇・四％）、就業率九四・九％（前年比一・七ポイント増）という状況でした。

厳しい雇用経済情勢の中、各拠点シルバーが地域に根ざした活動で前年を上回る実績をあげることができました。また、連合会も含めて県下全シルバーが公益社団法人に移行したことにより、一層の社会的責任を果たすことが求められます。

任期満了による役員改選が行われ、戸谷会長が再任されました。また、南信の南部地域から阿南広域の佐川会長が理事に、飯田広域の加藤会長が監事に選任されました。

東日本大震災の義援金 ご協力ありがとうございました

会員の皆様には班長さんを通じて、本年度年会費の納入に合わせて、義援金の募金をお願いしてきましたが、皆様方のご協力により十三万八千八百八十一円が集まりました。法人としての三万円の拠出金と合わせて十六万八千円余を全シ協にお送りしました。

全シ協で取りまとめた東北三県の被害状況によりますと、四十七シルバーで人的被害は死亡・不明者一九七名、避難者は把握できただけで八〇〇名余、原発事故による避難者は現在までに把握ができない状況です。が会員だけで千名余、家族を含めれば数千人の多くを数えているようです。また、避難地域に指定され事務所を再開できないシルバーも多数ある状況です。

一日も早い再開、避難解除をお祈りします。皆様のご協力ありがとうございました。

互助会からのお知らせ

互助会は五月の定時総会で承認されたように、センター事業とは切り離れた独立組織となりました。過日の幹事会で正副会長等に次の方々が互選され就任しました。また、当面の行事等が確認されました。

- 会長 芦澤好恒 阿智村春日
- 副会長 石原明治 根羽村
- 幹事長 桜井茂男 阿智村清内路

当面の行事

- マレットゴルフ大会 九月十四日
- 阿智村伍和・ワイWa i M G 場
- グランドゴルフ（講習会）十月五日
- 阿智村伍和・ワイWa i グランド

新入会員の紹介

島岡 章	阿智村智里	四月
松下 忠司	根羽村	五月
原 善彦	阿智村伍和	五月
原 紀美子	阿智村伍和	五月
野村 健司	阿智村清内路	五月
熊谷眞紀子	阿智村伍和	五月
倉田 宗一	阿智村春日	六月
片桐 貞夫	根羽村	六月
稲垣 節雄	根羽村	六月
片桐 市郎	根羽村	七月
石原 幾男	根羽村	七月

おくやみ

- 宮沢 勝利さん（阿智村駒場） 四月二十四日
- 木下 公子さん（阿智村伍和） 七月二十日

三村長に要請行動

新役員体制になって、挨拶をかねて、関係三村の首長訪問を行いました。国の仕分け作業により補助金が削減されていますが、更なる支援をいただくよう要請を行いました。各村長さんもシルバー事業の必要性について理解をいただき、業務の発注を含めて前向きに取り組んでいただく発言をいただきました。

交代しました

おたっしやかいコーディネーターの井原岩江さんに代わって、四月から林憲子さんが就任しました。よろしくお願ひします。



林 憲子 (阿智村春日)

熱中症を防ぐために

今年はこのほか暑い夏ですが、原発事故等で節電を意識するあまり、熱中症予防を忘れないように注意しましょう。暑さの感じ方は人によって異なります。予防には「水分補給」と「暑さを避けること」が基本で、決して無理をしないことが大切です。炎天下は勿論、屋内作業でも使用できるよう、ネッククーラーをお配りしますので活用ください。

編集後記

大震災から五カ月となりました。原発の多岐にわたる影響はとどめを知らない状況の中、阿智村では伊達市の小学生を受け入れました。帰ってからも子供達の元気な笑顔が続くようになることを祈ります。振り込め詐欺の防止PRについて、交番から依頼がありました。